

# 平成30年度全国学力・学習状況調査の結果と対策

平成30年10月 羽島市立小熊小学校

6年生を対象に4月に行った「全国学力・学習状況調査」の結果と対策をまとめました。次のとおり、よい点はさらに伸ばし、課題となる点については、改善に努めてまいります。

## 1 国語の調査結果と今後の指導

- (1) 【国語A 主として「知識」に関する問題】 全国平均を上回りました。  
【国語B 主として「活用」に関する問題】 全国平均をやや下回りました。
- (2) 領域ごとの結果  
「書くこと」、「読むこと」は全国平均を上回りました。「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は全国平均をやや下回りました。
- (3) 今後の指導
  - ・回数を決めた漢字ドリルでの練習ではなく、漢字や語句の意味を踏まえて指導をし、テストをするなどの見届けを行います。そして、各教科や日常生活で使用する文章の中で、適切に使うことができるように指導します。
  - ・話す順序や、意図を意識して、伝えたいことを話すことができるためのポイントを指導し、ペアで交流したり、班で話し合ったりする場を設定します。

## 2 算数の調査結果と今後の指導

- (1) 【算数A 主として「知識」に関する問題】 全国平均を下回りました。  
【算数B 主として「活用」に関する問題】 全国平均を下回りました。
- (2) 領域ごとの結果  
「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」のすべての領域で下回りました。
- (3) 今後の指導
  - ・問題場面を日常生活と関連付けて考え、算数の楽しさを感じられるように指導します。
  - ・分度器やコンパスの指導を丁寧に行います。
  - ・基本事項の定着を見届けるため、学年を遡って内容を確認しながら学習を進めたり、期間をおいて復習テストを実施します。

## 3 理科の調査結果と今後の指導

- (1) 【理科】 全国平均を上回りました。
- (2) 枠組みの結果  
【主として「知識」に関する問題】【主として「活用」に関する問題】ともに全国平均を上回りました。
- (3) 今後の指導
  - ・実験や観察を通して、結果から分かることを自分の言葉でまとめるように指導します。
  - ・理科と算数は関わりのある学習内容が多くあることから、それぞれの教科の学習において、他教科とのつながりを考えた指導をします。

## 4 質問紙 \*「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた数値で比較

- (1) 子どもたち自身のことについて
  - ①全国の数値を上回った設問例
    - ・将来の夢や目標をもっていますか。
    - ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
    - ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
  - ②全国の数値を下回った設問例
    - ・自分には、よいところがあると思いますか。
- (2) 子どもたちと地域とのかかわりについて
  - ①全国の数値を上回った設問例
    - ・今住んでいる地域の行事に参加していますか。
    - ・地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか。
  - ②全国の数値を下回った設問例
    - ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。
    - ・地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか。
    - ・地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか。
- (3) 今後に向けて  
本校の児童は、高い価値観と向上心をもって生活していますが、自分によいところがあると自己肯定感をもてていない児童の割合が高いと言えます。努力すれば達成可能な目標を具体的にもたせ、目標を達成させる指導・援助を継続的に行います。  
また、地域社会に関心を持ち、誇りをもつことができるような学習活動を行います。